

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2026年7月24日
【事業年度】	第39期（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
【会社名】	株式会社ファルコホールディングス
【英訳名】	FALCO HOLDINGS Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 社長執行役員 安田 忠史
【本店の所在の場所】	京都市左京区聖護院蓮華蔵町44番地3 （同所は登記上の本店所在地で実際の管理業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	-
【事務連絡者氏名】	-
【最寄りの連絡場所】	大阪府中央区内平野町1丁目3番7号
【電話番号】	06-7632-6150
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理室長 黒田 修平
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2026年6月24日に提出いたしました第39期（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

5 重要な契約等

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

5【重要な契約等】

（訂正前）

業務・資本提携契約

契約会社名	相手方の名称	契約締結日	契約内容
株式会社ファルコ ホールディングス (当社)	株式会社ODK ソリューションズ	2016年8月5日	業務提携 1. ITシステムに係る業務の委託 2. ITシステム開発における協力 3. 協業サービスの商品企画 4. 協業サービスの提供実現に向けた システム開発及び導入 5. 協業サービスの共同営業展開 資本提携 株式の相互保有
株式会社ファルコ ホールディングス (当社)	株式会社ビー・エム・エル	2023年3月10日	業務提携 1. 検査機能の相互補完と受注拡大 2. 基幹ラボの相互連携によるBCP対応 3. 地域ラボの相互活用による効率化と サービス向上 4. 顧客基盤の相互活用によるICT事業 の収益拡大 資本提携 株式の相互保有

(訂正後)

(1) 業務・資本提携契約

契約会社名	相手方の名称	契約締結日	契約内容
株式会社ファルコホールディングス(当社)	株式会社ODKソリューションズ	2016年8月5日	業務提携 1. ITシステムに係る業務の委託 2. ITシステム開発における協力 3. 協業サービスの商品企画 4. 協業サービスの提供実現に向けたシステム開発及び導入 5. 協業サービスの共同営業展開 資本提携 株式の相互保有

(2) 資本業務提携契約

契約会社名	相手方の名称	契約締結日	契約内容
株式会社ファルコホールディングス(当社)	株式会社ビー・エム・エル	2023年3月10日	業務提携 1. 特殊検査の委託 2. ノンコアエリアの検査の相互委託 3. 顧客基盤を相互活用したITC商品の販売 4. 検査施設やラボの相互活用 5. 検査システムの相互活用 6. 遺伝子検査の相互連携 資本提携 株式の相互保有

(3) 企業・株主間の株主保有株式の処分・買増し等に関する合意

当社は、当社の株主である株式会社ビー・エム・エルとの間で、企業・株主間の株主保有株式の処分・買増し等に関する合意を含む資本業務提携契約（以下「本資本業務提携契約」という。）を締結しております。契約に関する内容等は、以下のとおりです。

契約の概要

契約締結日	2023年3月10日
相手方の名称	株式会社ビー・エム・エル
相手方の住所	東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目21番3号
合意の内容	() 株式会社ビー・エム・エル及び当社は、本資本業務提携契約に定めがある場合を除き、その保有する相手方の株式を第三者に譲渡、承継、担保提供その他の処分をしない。 () 株式会社ビー・エム・エルは、当社の事前の書面による同意を得ることなく、株式会社ビー・エム・エル及びその関係会社が保有する当社株式に係る議決権割合が19%を超えることとなる株式の取得その他の行為を行ってはならない。

合意の目的

当社及び株式会社ビー・エム・エルは、それぞれの経営の独立性を維持しつつ、資本関係を基礎とした協力関係を強化し、臨床検査及びICTの領域における業務提携を推進することを通じて、両社グループの中長期的な企業価値の向上を目指すことを目的として、本資本業務提携契約を締結いたしました。

本資本業務提携契約において、当該合意は、両者間の安定的な資本関係を維持することにより、経営の独立性を確保しつつ、業務提携を円滑に推進することを目的としております。

取締役会における検討状況その他の当社における合意に係る意思決定に至る過程

当社と株式会社ビー・エム・エルは、ともに臨床検査事業を主力事業とし、かねてより臨床検査の委受託等を通じて一定の協力関係にありましたが、両者を取り巻く事業環境を踏まえ、今後それぞれが発展していく方策を検討してまいりました。

当社は、経営の独立性を確保しつつ、株式会社ビー・エム・エルと安定的な資本関係を基礎とした協力関係を強化し、臨床検査及びICTの領域において両社の経営資源を相互に活用することにより、シナジーの創出が期待できることから、本資本業務提携契約の締結は中長期的な企業価値の向上に資するものと判断し、2023年3月10日開催の取締役会において、資本業務提携の目的、具体的な資本業務提携の内容、契約上の重要事項等について審議の上、本資本業務提携契約の締結を決議いたしました。